

■このテキストの特色と使い方

○ このテキストは、国立・一流私立中学校受験をめざすみなさんに、より高い学力をつけてもらい、自信を持つて受験に臨んでもらうためにつくられました。

○ 問題は、国立・一流私立中学校の実入試の漢字・文法問題からよく出る分野の問題を編集してありますので、漢字・文法問題の対策は、この一冊で万全です。

*設問の都合上、問題を改めたり一部削除したりしています。さくじょ

もくじ

〔漢字・ことば〕

1 漢字の書きとり……………1

2 漢字の読み……………5

3 同音・同訓異義語……………9

4 部首・筆順・画数……………13

5 熟語の組み立て……………17

6 三字・四字の熟語……………21

7 類義語・反対語……………25

8 慣用句・ことわざ・故事成語……………29

9 語句の意味・用法……………33

10 漢字・ことばのまとめ……………37

〔文法・知識〕

11 主語・述語・修飾語……………41

12 助詞・助動詞……………45

13 品詞の識別……………49

14 敬語……………53

15 文学史……………57

16 文法・知識のまとめ……………61

漢字の書きとり

① 次の一線部のカタカナを漢字に直しなさい。 (1点×5)

〔芝(東京)〕

1 チョスイ池。

2 運動会をエンキする。

3 小包をユウソウする。

4 二国間でドウメイを結ぶ。

5 年賀状をインサツする。

③ 次の一線部のカタカナを漢字に直しなさい。 (1点×10)

〔慶應義塾普通部(神奈川)〕

1 ネンガンの勝利。

2 シンカンの図書。

3 キュウゴ活動をする。

4 台風がセツキンする。

5 コクモツの倉庫。

6 父母にコウコウする。

7 サンプクで一休み。

8 カイシンの笑みをもらす。

④	①
⑤	②
⑥	③

得点
①~⑥
/40
⑦~⑫
/60
計
100

9 テイリュウジョで待つ。

10 イツキヨに点を取る。

11 イツキヨに点を取る。

5 だめだとコトワられた。

4 人をサバくのはむずかしい。

3 田をタガヤす。

6 田をタガヤす。

2 次の——線部のカタカナを漢字に直しなさい。
〔武藏野女子学院(東京)〕

(1点×5)

1 ピアノのエンソウ会を聴きに行く。

7 手をサし出す。

2 わが国の外交セイサク。

8 白いスジの入ったシャツ。

3 ケンポウを守る。

9 彼をササえて歩いた。

4 母のアンピをたずねる。

10 自然のキビしさとたたかつた。

5 会社にシユウショクする。

6 次の——線部のカタカナを漢字で書きなさい。送りがなをふく
むものは、送りがなもつけて書きなさい。
〔甲南(兵庫)〕

(1点×10)

5 次の——線部のカタカナを漢字に直しなさい。
〔1点×10〕

〔甲南(兵庫)〕

1 石に文字をキザム。

2 学級委員をツトメル。

3 大げさにセンデンする。

4 姿をトトノえた。

1 文章をネつた。

2 姿をトトノえた。

3 きれいでコマかい仕事。

4 両親ともケンザイである。

⑦ 次の――線部のカタカナを漢字に直しなさい。

(1点×6)

〔立教(東京)〕

5 議会は法案をカケツした。

1 彼はカンセイが豊かだ。

かれ
彼はカンセイが豊かだ。

2 主戦投手を最後までオンゾンしておいた。

主戦投手を最後までオンゾンしておいた。

3 リーダーのヨウセイに努める。

リーダーのヨウセイに努める。

4 シンミになつて世話をする。

シンミになつて世話をする。

5 兄からタヨリが届く。

兄からタヨリが届く。

6 煙が目にシミる。

煙が目にシミる。

⑧ 次の――線部のカタカナを漢字に直しなさい。

(1点×10)

〔奈良学園(部分)(奈良)〕

⑨ 次の1~4の文を読んで、それぞれの――線部のことばを後のカタカナのことばから選び、漢字に直しなさい。

(2点×4)

1 昭子さんは、おだやかでまじめな中学生です。

〔昭和女子大附昭和(東京)〕

2 和子さんは、けつしてうそをつかない人です。

〔〕

3 わたしは、おかしづくりにわれをわすれてうちこみました。

〔〕

4 子どもの喜んだ顔つきを見ると、母親はほっとします。

〔〕

- 1 旅行費用をクメンする。
- 2 ジョウセキどおりの手がたい作戦。

- 3 友人のショウソクをたずねる。

- 4 協議はナンコウした。

メイロウ セイジツ オンコウ ニッシンゲツボ
ヒヨウジヨウ ジュウニントイロ ムガムチユウ

[10] 次の1～5の文に入る最も適当なことばを後から選び、漢字に直しなさい(同じことばを二度使わないこと)。 (2点×5)

〔横浜雙葉(神奈川)〕

直しなさい(同じことばを一度使わないこと)。

(2点×5)

1 彼は神の存在を()していた。

〔 〕・〔 〕

2 試験のために()になつて勉強した。

〔 〕・〔 〕

3 日曜日には校庭を()する。

〔 〕・〔 〕

4 芸術作品を()する。

〔 〕・〔 〕

5 この試合は()に負けられない。

〔 〕・〔 〕

へいこう	ぜつたい	たいしょう	かいほう
ひつし	かくしん	せいさく	

[11] 次の1～5までの各文には、それぞれ二つずつ漢字の誤りがあります。その漢字を正しい漢字に直しなさい。

(1点×10)

〔久留米大附設(福岡)〕

1 彼は窓を明けて、手足をのばし、心呼吸をした。

〔 〕・〔 〕

2 国は災害に備え、危険忘止のための万全の対策をたてた。

〔 〕・〔 〕

3 彼は専門家として地震が起こることを余想した。

〔 〕・〔 〕

4 彼は経験が豊かなので判談が的確だ。

〔 〕・〔 〕

5 問題は以外に優しかったので、合格はまちがいないだろう。

〔 〕・〔 〕

[12] 次の1～8のカタカナを漢字に直して、左の文の[A]に入れ、[B]には文の意味にあつた漢字を補つて文を完成させなさい。

(2点×8) 〔目黒星美学園(部分)(東京)〕

例 今日はツカれている。

働きすぎると[A][B]がたまる。

〔 疲 労 〕

1 初日の出をオガむ。

お手紙を[A][B]いたしました。

〔 〕

2 洗つたらチヂんでしまつた。

二分の一に[A][B]する。

〔 〕

3 両親をウヤマう。

A[B]を使って話しましょう。

〔 〕

4 アヤマつた考え。

A[B]を招きやすい。

〔 〕

5 望んでいた職にツく。

彼の言動は[A][B]の演説を聞く。

〔 〕

6 子どもを知り合いにアズける。

大統領[A][B]銀行で[A][B]を引き出す。

〔 〕

7 税金をオサめる。

その考えは[A][B]できない。

〔 〕

8 家業をツぐ。

伝統芸能を[A][B]する。

〔 〕

11

主語・述語・修飾語

得点	
1~7	/40
8~14	/60
	計
	100

- ① 次の各文の中から主語と述語を選び、番号で答えなさい。

(1点×10) 「小野学園女子(東京)」

1
2
3
4
5

1 わたしたちは夕方ある町に着いた。
2 遠くのほうに青い海が見える。

3 隣のおじさんも明日ヨーロッパへ旅立つ。

4 白い雲をかぶつた山のみねが美しくかがやく。

5 そんな簡単な問題ならぼくでも楽に解ける。

4	1
主語	主語
述語	述語
5	2
主語	主語
述語	述語
3	1
主語	主語
述語	述語

- ② 次の一線部のことばは、どのことばを修飾していますか。修飾されることばを番号で答えなさい。
- (1点×5)

〔城西大付城西(東京)〕

- ④ 次の1~5の文は、A~Cのどの型になりますか。それぞれ記号で答えなさい。
- (1点×5) 「潤徳女子(東京)」

①
②
③
④
⑤

- 1 その子はそまつなみどりの着物を着てはだしかった。
2 とほとぼと冬の山道を一人の旅人が帰っていく。
3 井戸いっぱいにひろがつたまるい波もんがすつかり消えた。
4 北極ぐまは年じゅう氷の上でくらしている。
5 日本人はまだまだ実用一点ばかりの考え方が多い。

- A 何がどうする B 何がどんなだ C 何がなんだ
- 1 なんといつても雪におおわれた山々の姿は美しい。
2 白い雲がふわふわと舞う。
3 わたしが案内係の山田です。

- ③ 次の一線部①~⑤は、A—主語、B—述語、C—修飾語のうちどれですか。A~Cの記号で答えなさい。
- (1点×5) 「共立女子第二(東京)」

- ・プロ野球選手をあきらめたぼくは、次にマンガ家になろうと思つた。
- ・日本を訪れる外国人の数は増え続けています。
- ・私は、窓ガラスを割つてしまつたのは。
- ・井上さんも今日はたぶんおくれるでしょう。

- 4 ためになる本を読むようにしよう。
 5 ぼくの兄が作った模型はすばらしい。

4	1
主語	主語
述語	述語
5	2
主語	主語
述語	述語
3	
主語	
述語	

- ⑤ 次の文の主語および述語にあたる部分を、例にならってそれぞれ答えなさい。なお、それにあたることばがない場合は×印を記入しなさい。
- (1点×10) 「松蔭(東京)」

例 花子さんは 今年の 四月から 中学生です。

答 主語 || ① 述語 || ④

1 おばさん、いまやつと ここに 着いたのです。

2 長野県では もう 初雪が 降つたらしい。

3 北海道からは 山本さんだけ 遠い ところを やつてきた。

4 今年の 夏休みには よく プールで 泳ぎました。

5 ほんとうに きれいだね、 向こうに 見える 山は。

1
2
3
4
5

- ⑥ 次の1～3の——線部が修飾しているのはどこですか。それぞれ記号で答えなさい。
- (1点×3) 「カリタス女子(神奈川)」

- 1 人が知恵をつくして 長い年月をかけて 品種改良した 結果。
 これはかれの 解剖学的な 関心から 描いたものです。
- 2 いくつもの 部屋に 分かれた 完全に 人工的な 空間です。

1
2
3

- ⑦ 次の——線部のことばは、どのことばを修飾していますか。記号で答えなさい。
- (1点×2) 「山手学院(神奈川)」

- 1 最近 つくづく 彼と 出会えて ほんとうに よかつたと思う。
- 2 ついに 登頂に 成功したと いう 話題で にぎやかでした。

1
2

⑧ 次の文を読んで、後の問い合わせに答えなさい。 (2点×4)

〔追手門学院(部分) (改題) (大阪)〕

(2点×4)

ア 秋の昼下がり白い子犬をつけたひとりの少年がけやきの
木道で空を見上げていた。

1 この文の主語と述語を記号で答えなさい。

主語
述語

2 線①・②は文中のどのことばにかかりますか。それぞれ記号で答えなさい。

①
②

⑨ 次の一線①～⑧は、その文の中で、例のA～Dのどれと同じ役割をしていますか。記号で答えなさい。 (2点×8)

〔山脇学園(東京)〕

例 天気がいいので私は野原を散歩しました。

- ① 庭には霧がかかつています。
- ② 花が咲いた。
- ③ 木も生きています。
- ④ 雨が降つたが外出しました。
- ⑤ 風が吹けば花がどんどんちつてしまふ。

①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧

⑪ 次の文は四つの成分でできています。文の組み立てとして最も適当なものを後から選び、記号で答えなさい。 (2点)

〔鹿児島(鹿児島)〕

いろいろつらいことがある。

- ア 修飾語+述語+修飾語+主語
 イ 主語+修飾語+修飾語+述語
 ウ 主語+述語+修飾語+修飾語
 エ 修飾語+修飾語+主語+述語

〔共立女子第二(東京)〕

⑩ 「海には波がよせ、山には風がふく。」と同じ構造を持つ文は、次のどれですか。二つ選び、記号で答えなさい。 (3点×2)

ア 日本では、水は自然のもたらす重要な資源である。

イ 兄は優秀な大学生で、弟は元気な小学生です。

ウ 教室には先生がいて、校庭には生徒がいた。
エ 車に乗った二人は、また街のほうへ出かけた。

オ 父は、母がないのでふきげんです。

カ 今年はどうやら、雨が降る期間が長いようだ。

--

[12] 次の1～4の文の——線部と——線部の文節の関係と同じものを後のア～エから選び、それぞれ記号で答えなさい。 (2点×4)

〔駒沢学園女子(東京)〕

1 これはあわれな悲しい物語です。

2 すすめられたので思いきつて食べてみた。

3 遠くで目覚まし時計のベルが鳴った。

4 万葉集は最古の歌集だ。

ア 話している人が父だ。

イ 夏の海はにぎやかだ。

ウ すずしい風がそよそよと吹く。

エ 彼はほがらかで親切だ。

1
2
3
4

[13] 次の文は、主語と述語の関係が合っていません。主語と述語の関係が正しい形となるように必要なことばをおぎなつたり、書きかえたりして、全文を書きなさい。

(4点×2)

〔お茶の水女子大附(東京)〕

1 わたしが日本語の中で最もむづかしいと思うのは敬語であると感じた。

2 きのうわたしは学校の帰り道で、子犬が自分の倍以上もある大きな犬にほえかかっていた。

[14] 次の1～4について、それぞれあげたことばを用いて文を作るとき、一つだけ不要なことばがあります。そのことばを記号で答えなさい。

(3点×4) 〔洛南高附(京都)〕

1 ア 母校の イ 去る ウ 先生は

2 エ 創立記念日でした オ 四日は カ 我が

3 エ 社会に オ なつてほしい ウ 力 役立つような

4 エ 見ると イ 何か ウ 彼が エ 見える

オ あつたと カ ところを キ どうして

ク 笑っている ケ いいことが

ア 毎日 イ 連れて ウ うちの エ ひどい日

オ 犬を カ 以外は キ 散歩に ク たぶん

ケ いくことにした コ 雨の

1
2
3
4

2	1

MJ中学受験必勝ゼミ 国語 漢字・文法・知識 解答と解説

1 漢字の書きとり

(1~4P)

① 1 眇水 2 延期 3 郵送 4 同盟 5 印刷

② ① 障害 ② 盛 ③ 價値 ④ 情報 ⑤ 誤用 ⑥ 管理
③ 1 念願 2 新刊 3 救護 4 接近 5 穀物 6 孝行

④ 7 山腹 8 会心 9 停留所 10 一挙
⑤ 1 演奏 2 政策 3 憲法 4 安否 5 就職
⑥ 1 練 2 整 3 細 4 裁 5 断 6 耕 7 差 8 筋

⑦ 9 支 10 厳 1 刻む 2 務める 3 宣伝 4 健在
⑧ 7 樹立 8 承 9 敗 10 建前
⑨ 1 感性 2 温存 3 養成 4 親身 5 便 6 染
⑩ 1 工面 2 定石 3 消息 4 難航 5 可決 6 見当
⑪ 7 1 温厚 2 誠実 3 無我夢中 4 表情
⑫ 1 確信 2 必死 3 開放 4 制作 5 絶対
⑬ 1 開・深 2 備・防 3 門・予 4 驗・断 5 意・易
⑭ 1 拝見(拜讀) 2 縮小 3 敬語 4 誤解 5 就任
⑮ 6 預金 7 納得 8 繙承

て初めて正しい漢字が書けることになる。

⑦・⑧ ①~⑬より思い浮かびにくい漢字が並んでいるので、思い通りに書けないかもしれない。「温存」や「定石」などがきちんと書けた人は国語の力がある。

⑨・⑩ 漢字の読み方がわかつていて、その読み方に従って漢字を書くというのが普通の書きとり問題だが、この二問は意味を考えて書く漢字を決定しなければならない。意味のわからない人には、書けないようになっている。

⑪ 同じ音や似たような形の漢字は書きまちがいが起きやすい。3 の「専問家」は特にまちがえる人が多いので注意。

ラストチェック問題 ①

○次のア・イは形が似ていて書きまちがいが起きやすい漢字です。
問 — 線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- (1) ア ケン査をする。()
 (2) ア 最テイ
 (3) ア ケワしい山道。()
 イ テイ辺()
 イ グン衆の中にまぎれこむ。()
 イ 都市を離れ、静かなグン部に住む。()

解説
 ①~⑯ 漢字の書きとりでは、その漢字が書けるということで満足せず、意味を理解し、十分に使えるかどうかという点までチェックすることが重要である。特に「学級委員をツトメル」などのように同じ読み方のある漢字は、その意味と漢字がしつかり結びついてい

難レ難ム(2) 難レ難ム(2) 難レ難ム(1) 難極

11 主語・述語・修飾語

(41~44P)

しゅうしそく

①	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
②	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
③	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
④	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
⑤	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
⑥	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
⑦	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
⑧	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
⑨	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
⑩	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
⑪	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
⑫	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
⑬	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
⑭	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14

解説

- ① 主語を示す「は」「が」「も」「でも」の助詞に注意する。ただし、述語をまず最初に決定して、その意味のつながりを確かめよう。
- ② 修飾語は、意味のつながりをよく考えること。主語・述語をくわしくする場合が多いので、主語・述語とのつながりに注意。
- ③ 文型は、述語の品詞で考える。Aは動詞、Bは形容詞・形容動詞、Cは名詞・代名詞である。

問

ラストチェック問題 (11)

- 次の文で主語のない文はどれですか。番号で答えなさい。
- 1 クラスの中では君こそ委員長にふさわしい人です。
- 2 やわらかい南の風がわたしのほほをなでていく。
- 3 兄弟でセミをとった喜びを昨晚日記につけた。
- （　　）

- ◎ 例文は複文で、Aが主語・述語の形の修飾語句になつており、Bが主語、Cが修飾語、Dは述語である。
- ⑩ 重文の構造になつていることを考える。
- ⑪ 主語(ことが)、述語(ある)を発見することで解ける。
- ⑫ 1はたがいに並立している。2は動詞と補助する語の関係。3は主語―述語、4は上が修飾語という関係である。
- ⑬ 1は「思うのは―感じた」という主語―述語の関係を直す。2は「わたしは―ほえかかっていた」がおかしい。
- ⑭ 1 去る四日は我が母校の創立記念日でした。
- 2 君たちには社会に役立つような人になってほしい。
- 3 彼が笑っているところを見ると、何かいいことがあったと見える。